

「グレイテストライフ浅草」概要

運営：株式会社 グレイテストライフ
代表取締役 藤原 仁

形式：サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）
（60歳以上の方が入居可能）

所在地：東京都台東区東浅草2丁目22番5号
（浅草駅から約1.7km、南千住駅から約1km）

敷地面積：574.31㎡（174.0坪）

延床面積：2,726.43㎡

構造規模：鉄筋コンクリート造地上8階

設備：

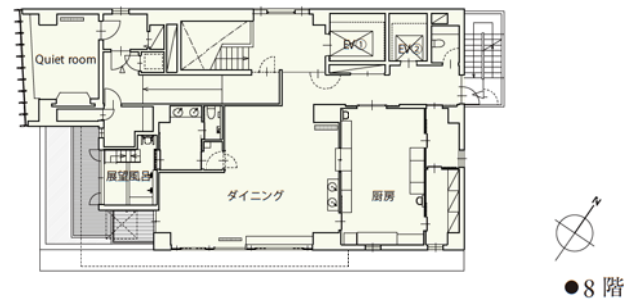
- 1階 ホール／カフェ／ショップ
- 2階 デイサービス／機能訓練室／研修施設
- 3～7階 住宅フロア／ゲストルーム（5階）
- 8階 沈黙と安らぎの部屋（Quiet Room）／
展望風呂／ダイニング・厨房

部屋タイプ：全部屋「南東向き」計37部屋

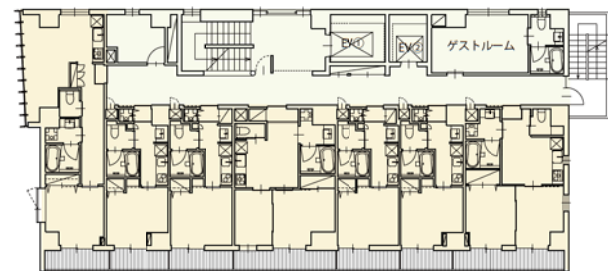
- 3・4階 「福祉施設型サ高住」
（19.5～23.6㎡）18部屋
- 5～7階 「共同住宅型サ高住」
（25.5～47.5㎡）19部屋

交通アクセス

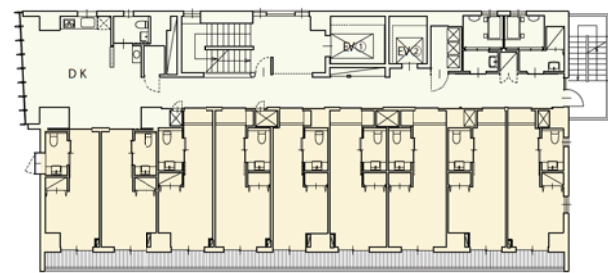
- 「南千住」駅より徒歩約15分
都バス／東京駅八重洲口行（東42甲）または上野松坂屋前行（上46）「東浅草二丁目」下車徒歩約3分
- 「三ノ輪」駅より徒歩約15分
都バス／浅草雷門南行（草64）「吉原大門」下車徒歩約3分
- 「浅草」駅より徒歩約25分
都バス／南千住駅西口行（東42甲）「東浅草二丁目」下車徒歩約3分／池袋駅東口行（草64）「吉原大門」下車徒歩約3分



●8階



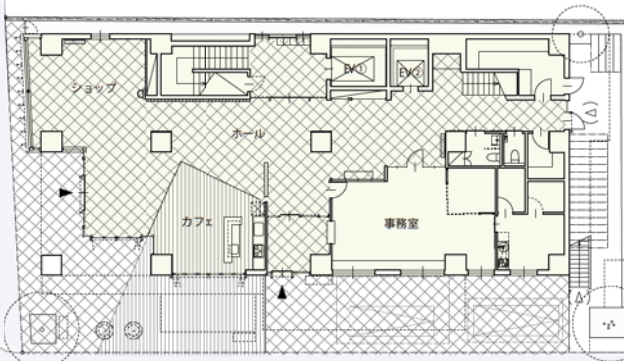
●5～7階



●3・4階



●2階



●1階

サービス付き高齢者向け住宅

Greatest
Life
Asakusa

グレイテストライフ浅草

設立趣意書

グレイテストライフ浅草

最期まで輝きながら最高の人生「グレイテストライフ」を生きられる
新しい未来型協働モデルの《住まい》を構想しています。

台東区の福祉・介護の理念「高齢者が、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるまち。高齢者の尊厳が守られ、自立した日常生活をともに支え合えるまち」のもと、私たちは2018年2月に「サービス付高齢者向け住宅」としての開業をめざしています。

「問題解決先進国：日本」のモデルとして——

グレイテストライフ浅草は、少子高齢化のビッグウェーブを乗り越え、超高齢社会を生きるための「新しい協働の住まい方」プロジェクトとして立ち上げます。地域に開かれながら、子どもたち・障がい者・地域の皆さんと交流し、入居者の方々も「自助・互助・共助・公助」で支え合い、響き合って生活し、医療・看護・介護・福祉・教育・法務等の専門家たちが協働してサポートする「問題解決先進国：日本」のモデルをめざします。

Greatest Life Asakusa

サービス付き高齢者向け住宅

高齢者の方々に、人間の尊厳を大切に
最期まで輝いて生きてほしい——

藤原 仁 *Hitoshi Fujiwara*

2012年10月、私は認知症を患っていた母を86歳で見送りました。母は1950年、23歳の時にこの浅草の地で、父と一緒に婦人靴メーカーパイロットシューズを創業し、2002年に私が社長を引き継ぐまで、社業や地域の発展のために精力的にエネルギーを注いで生きてきました。しかし、その気丈だった母が80歳を過ぎた頃から物忘れが進行し、徐々に息子である私の名前すら呼べなくなり、「人格」を失っていく姿を目の当たりにすることになりました。

高齢者の方々に、人間の尊厳を大切に最期まで輝いて生きてほしい——。そのような願いから、この度、パイロットシューズと共に歩んで来たこの浅草の地で、子どもや高齢者の在宅診療を16年間手掛けてきた前田浩利医師と協働して介護事業に挑戦することを決断致しました。

(パイロットシューズ株式会社 代表取締役)

前田浩利 *Hirotohi Maeda*

我が国の医療・福祉の新たなビジョン

私は小児科医として、多くのがんや重い先天性の病気を持った子どもたちに出会ううち、どんな重い病気や障害があっても、家族と一緒に自宅で過ごせることが、何よりも子どもと家族にとっての幸せだと考えるようになりました。そして、16年前に在宅医療の世界に飛び込み、子どもだけでなく多くの高齢者の方々の在宅医療を経験してきました。

今、日本は、人類未曾有の超高齢社会、多死社会を迎えようとしており、そのビッグウェーブに、我が国の医療・保健システムは耐えきれないことが危惧されています。そして、国が選んだ選択肢が在宅医療の充実であり、慣れ親しんだ我が家で最期まで過ごすことができる体制の構築です。

全ての方の人生が輝くために——。0歳から100歳までの方を支える在宅医療こそ私の目標であり、我が国の医療・福祉の新たなビジョンだと思います。そして、それを形にすべく、私は、介護事業に対して、同じ理念を持つ藤原仁氏と志を一つにして新たな挑戦に向かいます。

(医療法人財団 はるたか会 理事長)

